

久留米プランにみる国語単元学習カリキュラム

山 元 悦 子

(平成五年九月十日受理)

一、はじめに

今日、実践報告を通して様々に提案される国語科単元学習は、カリキュラム全体を見通した立場から語られることが少ないため、一つの単元学習実践がどのような学習内容体系を前提としているのか、年間学習計画にどう位置づいているのかが見えにくいという問題があるように思われる。このような状況が生じる背後には、学習内容体系と学習計画の一般的な指針は学習指導要領・国語教科書によって用意されているため、不問に伏されがちだという実状がある。また、単元学習の考え方を「学習指導上の工夫をこらす」面でのみ理解した場合、このような問題とは初めから触れ合わないともいえる。しかし、単元学習を単なる指導方法概念ではなく、指導内容、指導計画論をも包括したひとつの国語教育理念としてとらえた場合、単元学習による国語学習カリキュラムの構築は、まだ解決されていない課題として浮かび上がってくる。

この課題を考えるにあたって注目に価するのは、昭和二十年代前半に各地で熱心に追究されたカリキュラム研究である。この時期盛んに発表されたカリキュラム研究は、教育課程の編成自体が模索されたものと一

般的には理解されるが、国語科の立場からみれば、単元学習を前提とした国語カリキュラムが試行的に提案された時期であるともとらえられるのである。

福岡県久留米市内十三の小学校と久留米附属小学校による協同研究を通して作成されたカリキュラム計画は、昭和二十四・二十五年にかけて発表されたものであり、当時様々に提案されたカリキュラムプランのうち、教科カリキュラムの立場から作られたプラン群に属する。本論考では、このカリキュラム計画を分析、検討することによって、単元学習の理念を生かした国語学習カリキュラムのあり方について考察する。

二、カリキュラム構成論の諸相

占領軍施策による教育の民主化は、地域独自の教育計画の推進を称揚した。そのような政策的な補強と、新しい教育を自分達の手で作らなければならない情熱によって、戦後各地域、学校単位で地域プラン、カリキュラム計画が作られ、発表されている。当時のカリキュラム計画はおよそ次のような手順で構想されている。

(1) 新しい教育方針の確認

(2) コースオブスタディ研究と実態調査によって、教育内容を規定する枠組み(スコープとシークエンス)を設定する

(3) 単元学習方法原理の確認と単元による年間・学年計画の作成を通じた教育計画の立案

各地各学校のカリキュラム計画はこのような共通する手順を踏みながら、どこに力点をおいて構想していくのか(例えば、生活学習の立場から教科の枠そのものの再構成をはかるコア・カリキュラムや、新教科である社会科カリキュラムの構想を中心に他教科の位置づけを模索する立場等)によってその内容に相違点が現れてくる。以下その典型的なものとしての経験カリキュラムと教科カリキュラムの考え方を先の(1)から(3)の観点に沿って整理し、久留米プランと対応させることで、久留米プランの基本的性格を指摘していきたい。

○経験カリキュラムの場合

(1) 教育方針

地域社会に根ざした生活学習を目指す、あるいは社会科という新教科のあり方の研究から、児童の社会生活経験の分析・再構成によるカリキュラム計画をはかる。

(2) 教育内容規定の枠組み

学習内容は社会生活の機能分析によって抽出される。

例一―東京第三師範学校附属小学校「小学校カリキュラムの構成」

(同学社 昭和二十四・六・十)の場合、バージニアプラン等によりながらスコープは以下のように定められている。

生命の保全・生産と消費・資源の保護・交通通信運輸・教育・政治・厚生慰安

この七項目それぞれに関する児童の意識調査に基づく学年学習課題(シークエンス)が設定されるのである。

(3) 単元による教育計画

児童の社会生活における問題を解決する学習を中心学習として中核的立場におき、それを支える基礎学習を中心学習との関連において配置する。

例二―東京第三師範学校附属小学校の場合(表1参照)

例二のような作業単元は次のような時間割によって学習されている。

9:00―9:20 話し合い

10:40 単元の学習(中核学習)

11:10 健康・体育・音楽

12:00 技能の学習

12:50 昼食の時間

13:40 情操の時間

14:20 技能の学習

15:00 技能の学習と個人の指導

表 1

單元		機 械 文 明		配 當	六 年 四 月 一 七 月	
目 的	的	一、われわれの生活が機械文明の恩恵をどのように受けているかということの理解を得させる 二、機械文明の発達を各国民の相互依存の度を高めていることを知らせる 三、發明発見及び機械の進歩は通信の方法を進歩させたことについて理解させる 四、機械文明史の初歩的理解を得させる 五、日本の機械工業生産に関する理解とその将来への関心を深める		六、機械生産は相互依存を増大させる傾向を持つことを察はせる 七、機械生産は自然の物資をますます多くの人間に提供している事実について理解させる 八、日本の機械文明と外國のそれとを比較させ、その長短について認識させる 九、生活の科学化を心がけさせ、創意工夫する態度を養う 十、機械についての初歩的な知識や技術を得させる		
		内 容		基 準 と 評 価		
一、新聞とラジオの研究	1 世の中の出來事を知らせるのにどんな方法があるか A 昔の方法 記録の方法や保存に貢献した發明について研究する 昔の本と今の本を比較する 木版をあつめて見せ合う 粘土、石、樹皮等を使つて古代の記録がどのように保存されて來たかについて人に訊き、又資料をあつめる B 今の方法 電信、電話のはじまり 新聞の發行 出版方法の發達 ラジオ 郵便制度の制定 海底電線の敷設 航空郵便 放送音楽の研究	大百科辭典 日本文化史 科學文明史 (アールズ) 小學生の科學 「電氣を使う」とどんなに便利か 放送の音楽 番組 番組の制定 海底電線の敷設 航空郵便 放送音楽の研究	百科辭典その他の辭典 鑒を用いる 自主的に使う 適切に使う 通信の道具を使う 手紙や葉書 電報の打ち方 電話 放送 學校、學級新聞をつくる スクラップ・ブックをつくる 新聞、雑誌の記事を使う 生活と運動との關係について理解する 見学についての計畫 計畫を批判し検討する 見学現場に赴き新しい事象の要點を發見する 傷害預防 電氣器具による傷害	參考書を利用する能力 辭書を利用して文字や言葉の意味をしらべる 書物のどこが有効かを考える 必要な箇所を整理してノートする やさしくしてノートする 自分の讀んだ知識を他人と交換して助け合う 新聞の讀み方 評論を讀む能力 新聞記事を書く力 學級新聞投稿 壁新聞をよみ、かく能力 報告書を書く能力 要點を短くまとめて書きとる 要點を速記する よく聞いて要點をつかむ 落着いて速く書く 略號などもつかう	年代の計算 既習知識計算の復習 二次元の表 いろいろな記録を整理して表にまとめ、その大體を容易にすると共にその表から数量的に物事を判斷する 統計的整理の方法と技法の理解 制約の算出	モノクローム畫及び版畫の技法をねる 放送音楽の鑑賞

言語学習の位置づけ

経験カリキュラムの場合、国語学習に対する配慮はどのようになされているだろうか。

言語学習等の基礎学習への目配りを持った経験カリキュラムの例として東京学芸大学第一師範学校附属小学校のプランを掲げておく。表1にあげたものと比較されたい。このプランは次のような立場から計画されたものであった。

「生活経験カリキュラムの経験学習は、その導入から展開・整理・評価まで、全ての段階の学習が、言語の力を中心として進められる。従って、経験学習は、言語の助けを借りて展開すると同時に、言語の種々な面の練習の場となる。この学習によって、児童の言語能力は、ぐんぐんと伸びてゆく。しかし経験学習において、言語学習の全範囲にわたることは、もとより困難なことであるし、その系統的・段階的な指導は到底望めない。更に経験学習において必要な言語能力をあらかじめ学習しておかねばならない場合も多々でてくる。(略)」(ここにおいて、経験学習の他に言語の基礎学習の時間を特設して、系統的にその学習を指導する必要がある。東京学芸大学第一師範学校附属小学校「カリキュラムの構成と実際」(学芸図書 昭和二十四・十二・一、p七六)

このような立場に立つて立案されたのが次の形式である。

例三 東京学芸大学第一師範学校附属小学校「カリキュラムの構成と実際」(学芸図書 昭和二十四・十二・一)の場合(表2参照)

経験カリキュラムにおいて、スコープとシックエンスは、社会生活の機能分析によって定位されるが、言語能力に関する学習内容と系統に関しては、当時新しい考え方として紹介導入された、話し聞く・読む・書

くという言語活動分類にのっとったものが多い。表2のように、それをスコープ(学習領域)と捉え、それぞれの領域における発達系統を児童の実態調査や経験的に把握されているものを考慮して定位していくのである。いわゆる能力表の作成である。これはむしろ学習内容の領域と系統に関するカリキュラムであり、いわゆる学習計画、つまりどの言語能力をどういう学習を通して習得させるかに関しては、経験カリキュラムの場合、隠されたカリキュラムとなっている。言語学習カリキュラムに関しては次のような方針によってその方向性のみ示されるのである。

(1) 作業単元学習(中心学習)における経験的習得にまかされ、作業単元学習の内容に即して言語能力のどれが使われるかという観点から学習内容が選択される。つまり、能力表は系統的に用意されるが、その指導計画は作業単元学習の内容によって従属的に決定される。

(2) 作業単元学習において、ある言語能力運用経験を付与することと並行してその言語経験を支える言語技術の習得の時間が関連して設けられる。

(3) 作業単元学習とは特に関連をもたず、能力表に従って未指導の内容を補うための個別の学習時間を確保することもある。

例三は、(3)の考え方にたつものであり、例二と比較すれば、より教科カリキュラムに近い形態となっている。しかし、基礎学習領域個々の系統性に準拠した学習計画ではない点でこれらの立場は共通しているといえよう。

[illegible][illegible]

(後略)

○教科カリキュラムの場合

(1) 教育方針

教科の枠を外した極端な経験カリキュラムによる教育で基礎的調和的に社会生活に必須な諸能力や態度を發展させることは困難であり、まずは教科主義の立場から、児童の生活経験領域区分として教科内容を捉えなおし、生活の総合性・関連性を考慮した教科間の連携をはかる。各教科指導過程上に児童の要求・関心から出発する問題解決学習方式を取り入れる立場を取る。

(2) 教育内容規定の枠組み

各教科ごとに学習指導の範囲と系統を定める。特に、社会科において経験カリキュラムの立場に共通する手法でスコープとシークエンスが設定される。国語科の学習指導の領域と系統は次のような方針で定められている例もある。

例四―信州大学長野師範学校長野附属小学校「国語の単元学習と年次

計画」(啓文館 昭和二十五・六・三十)の場合(表3参照)

〈言語生活には、各種の形態があり各種の目的があり、それぞれの形態に即し、それぞれの目的に応じて多様な言語機能が成立している。当校では、日常の言語生活の省察(問題の発見とその分析)や社会の国語教育に対する要求や児童の言語生活の実態や学習指導の経験による洞察等に基づいて、学習指導の範囲を研究し、更に学年の学習目標と学年の学習内容(形態、素材、機会、場所、事項等)とを研究した。そして国語学習指導の範囲を大きく話す聞く・読む・書く(作文を含む)・文法の五部門に取り、更に分析された学年の学習目標が適当に分類されるものであるとともに、また発達させていくべき言語機能の方向を示すものとして、次の表の如き「学習目標分類項目」を立て、また学習内容分類項目を考えた。〉

表 3

読む										話す										範囲				
文 (鑑賞) 学	図書・新聞雑誌 利用誌	辞書の利用	批評	内容の理解	語い	文字	朗読	黙読	音読	批評	内容の理解	態度	演劇	独話					対話					分学 類習 項目 目標
														独話					対話					
辞書	新聞・雑誌図書	演劇台本	物語	思索	索引	記録	手紙	日記	詩歌	話すに同じ	演劇	独話					対話					分学 類習 項目 内容		
												映画	放送	演説	説明	報告	発表	司会	討議	話合	電話		問答	対話
文法											書く													
文法										表記		書写			編集	文								
										批正	記述					構想	取材							
文の構造	きい句 まての 点に	のかな 準づか 則い	品詞の 抽別	語の充 満語	歌の関 係と	と文の この こと	抑揚・ ト・ク	発音・ ア・ク	共通語 と方言	言語の 有用性	表記書写					編集	文							
											書式	改行	視写・ 聴写	用具	修正		速さ	文字 字形	文順	筆	脚本	物語		感想

この例の場合、言語生活論に立ちつつ、言語を形態的に分類する（音声言語の場合、対話・会話・独話等、文字言語の場合、日記・記録・物語等）立場、機能的に捉える（取材・構想・記述）立場、要素的に捉える立場（文法）、言語経験の場によって分類する（電話・挨拶・編集等）立場が混在している。実践に即して提案された、様々に発展充実する可能性をはらんだ系統試案といえよう。

（3）単元による教育計画

教科カリキュラムの場合、教育内容を構造化する際には教科構成自体がまず問題となる。例五のように、教科構成が発達段階に応じて学年ごとに変化しているものもある。また、時間割上の工夫によって、例えば単位時間の設定のみ（例九：〇〇朝の会・九：一五から一〇：一五教科学習第一限・一〇：三五から十一：一五第二限）で教科学習の連関は各教室の実態によって教師にまかされたり、内容教科と技能教科の配置に工夫をこらす場合もある。例六は後者の場合である。

例五―広島高等師範学校附属小学校「新教科カリキュラムの構想」

（目黒書店 昭和二十五・六・五）の教科構成

12年―生活部 国語科・算数科・音楽科・体育科・リクリエーション

3年―生活科 造形科・国語科・算数科・音楽科・体育科・リクリエーション

456年―社会科・理科・造形科・国語科・算数科・音楽科・体育科・リクリエーション・自由研究の時間

例六―石川県珠洲郡正院町飯塚小学校「わが校（複式学校）のカリキュラムと実施」（野瀬寛顕「カリキュラム構成の技術」昭和二十四・四）の時間割

8:00～8:20 計画・朝の会

8:40 そろばんの時間

9:40 社会と理科の時間・直後学習の時間

10:25 楽しい時間

11:40 国語と算数の時間・体育情操の時間

12:00 清掃の時間・反省、計画の時間

13:00 お昼の会

14:15 体育情操の時間

14:35 反省、計画の時間

このように教科構成を学年によって段階的に設けたり、時間割の上で内容教科と技能教科の関連等をはかることで旧来の教科主義の弊害を克服しようとするのである。

また、年間の学習計画は他教科、特にコア学習（作業単元）・社会科との関連性を尊重しながら教科ごとに立てられていく。次にあげるのは第一学年の年間国語学習計画が単元学習によって構成されているものである。

例七―東京学芸大学附属小五校連合国語研究会「単元による国語学習の展開」（教育図書研究会 昭和二十五・十）の国語単元計画

単元一 楽しい学校

単元二 文字版

単元三 本を読みましよう

単元四 絵ばなし

単元五 教科書の学習

単元六 運動会

単元七 ことばあそび

單元八 お正月あそび

單元九 学芸会

例七は、第一学年の単元学習展開を、単元の趣旨・指導目標・資料の見通し・詳細な学習活動計画と指導上の留意点・評価にわたって記述している。しかし、このような形で各教科ごとに作業単元的な学習を行うことの、カリキュラム全体からみた重複感とむだの多さは、当時の計画立案者の多くが指摘するところであった。確かに作業単元に習う意識の強い、当時の教科カリキュラムにおける国語単元学習は、学習指導上、形式的な整いは見せるものの、今日からみて不必要な学習活動上の手続き（例えば単元の始めには、判で押したように学習者同士に話し合いをさせて計画を自主的に決めさせようとするなど）にこだわる面を有している。

国語科単元学習実践史の出発点に現れるこのような傾向は、その後の単元学習からは徐々にそぎ落とされていくように思われる。この時期のカリキュラム上の模索を通して構想された国語科の単元学習という発想は、経験カリキュラムにおける作業単元学習の発想（学習者の自主性の尊重・生活から導かれる学習内容・作業活動経験を学習活動の中心に置く）を教科学習に取り込みながら、それ故生じる問題点もはらみつた発していったのである。また、例七の単元計画のように、カリキュラムを作る上で、社会生活機能から学習内容を抽出する経験カリキュラムの方針を基本的に踏襲し、学校生活上の節目（学校行事や季節行事等）に学習計画の立脚点を見いだす発想も今日の単元学習実践にもつながるものとして確認されるものであろう。

三、久留米プランの性格

これまでとりあげてきた諸プランと比較した場合、久留米プランの特徴はどこにあるのだろうか。

久留米プラン立案の手順は次のようなものであった。

- ① 久留米市教育計画構成委員会の発足
原理委員会 常任委員会 社会調査班 単元構成委員 延べ一九一人の組織構成
- ② 教育原理研究 教育目標の決定。新教育における方法原理とカリキュラム原理の確定。
- ③ 久留米市における具体的目標決定のための社会・児童実態調査能力表・シーケンス・ソースユニット・作業単元の作成
- ⑤ 『生活学習展開の手引き』（B五版一七八ページ）十一月十日発行
- ⑥ 『久留米プラン分化生活学習展開の手引き』（B五版三三四ページ）十一月二十五日発行

このような作業手順によって、久留米プランは誕生したのである。以下、先の（1）から（3）の観点に即してその特徴を述べたい。

久留米プランでは、教育の一般目標を掲げつつ、教科カリキュラムと経験カリキュラムの功罪を論じ、次のようなカリキュラム上の立場を確認している。

「われわれは、学習の全体計画を二つの体系に構成した。すなわち社会生活における課題解決学習としての総合的全一的学習たる総合生活学習と、社会生活における基礎技術及び社会における総合的生活より分化し、文化的価値を追究せんとする系統的学習としての分化生活学習である。」

分化生活学習には、（一）総合生活学習を運用する能力でもあり、ひいては生活上の能力に転化する基礎能力の学習と、（二）芸術、科学等

それ自体が一つの独立した文化価値を持つ領域の学習との二面からその必要が認められている。とくに(二)の面が、教科を分割して学習するべき根拠として確認されているのである。

二つに分割された学習領域は次のように構成されている。

総合生活学習(社会機能の分析による学習領域の設定)

1. 生産消費分配
2. 郵送通信
3. 健康娯楽
4. 保全統制
5. 宗教教育芸術

分化生活学習(生活能力の分析による学習領域の設定)

1. 言語表現の能力(国語)
2. 数量形中心の測定・計算能力(算数)
3. 自然及び社会における科学的合理的的生活営能力(理科家庭)
4. 豊かな情操生活を営む能力(音楽)
5. 描図及び手技についての能力(図工)
6. 健康なる生活を営む能力(体操)

この総合生活学習と分化生活学習の時間比率に関して、久留米プランでは次のような表で説明がなされている。

生活学習		教科カリキュラム
6 年		
5 年		
4 年		
3 年		
2 年		
1 年		

経験カリキュラム

例五にあげた教科カリキュラムのように、学年発達に合わせて固定化された教科構成をとっていないのは、総合生活学習と分化生活学習の配分自体を各学校、各教室の実態に合わせて流動的に考えていこうとするためである。

久留米プランの特徴は、久留米市内十三校と久留米附属小学校との協同研究という特色を生かした、規定性の緩やかなカリキュラム構成となっている点であろう。久留米プランでは、基底という概念を生かすことによってこの柔軟性を保障としていこうとしているのである。

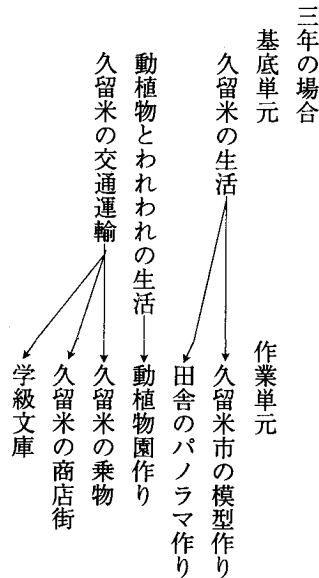
そもそも、基底という概念は占領軍の教育施策によってもたらされた種々の教育論の中で、ソースユニットとして紹介されたものの訳語である。これについては、当時からように理解されていた。

〈基底単元は、教師のために準備されたものであり、最も効果的な指導法を行うために予備的に研究する詳細な計画である。〉(略)この単元計画は、基底単元としての性格をもっているものである。したがって、個々の学級において、この単元の学習が展開される場合は、これをそのまま利用するというが如き性質のものではない。(略)要は、学級教師によって計画される学習単元の基底となり資料となる性質のものである。以上の意味における基底単元の配列は次のようになっている。

- 一年 学校 家庭
 - 二年 農園 停車場 近所の人々
 - 三年 動植物と私たち 町といなか 西部鉄道
 - 四年 郷土の生活 武蔵野の秋 東京の発達
 - 五年 衣食住とその資源 交通と運輸 日本政治
 - 六年 機械文明 宇宙とわれわれの住む地球 日本と国際社会 東京
- 第三師範学校附属小学校「小学校カリキュラムの構成」(同学社 昭和

二十四・六・十 p一〇四)

この引用からわかるように、基底概念は、教室での実際の単元学習を行うにあたって教師があらかじめ用意する計画上の単元であることの強調として用いられている。単元計画が紙上プランであることの強調が「基底」という語の共通理解といつてよいであろう。この点では久留米プランの場合も例外ではない。久留米プランの独自性は、「基底」の原理的設定を更に具体的に下ろすために作業単元を別個に、しかも複数用意している点にある。次のようなものである。



このような方針を取ったことについては、次のように述べられている。
 〈教育に一般目標を規定し、さらに地域社会の課題と、児童心身の発達とを照らし合わせながら具体的教育目標を決定したわれわれは、更に各学年における児童の生活領域、興味関心等に即して、作業単元を構成せんとするのであるが、この場合直ちに一定の作業単元を作り、これを久留米プランとして固定化することは、市内全小学校に同一の学習内容と活動とを強いることとなる。(略) 故におよその学習活動の領域を設定し、その領域内において多様の展開例を用意することが最良の作業単元

展開の手引きとなるのである。総合生活学習の基底とは、この学習活動の領域のことである。〉

これについて、序文を寄せた海後勝雄も次のように評価している。

〈今日、地域プランが各地で作られているが、久留米市の計画は、それらにくらべて、最も合理的であり進歩的であると思う。たとえば、目標設定に着実な手続きが踏まれ、ことにソース・ユニットは本来の基底としての限界を正しく守ることによって、学校や学級に創意ある自由な構成と展開を期待した点は、全国の基底カリキュラム研究に一つの指標を与えたものといえることができる。〉

計画の固定化を避けるために、学習領域ごとに複数の作業単元例を用意し、任意に選択できる形で各学校や学級に創意ある自由な学習構想を委ねる方針は、他のカリキュラムプランと比べても注目し得るものである。分化生活学習における各教科の作業単元例は延べ二三四名によって分担・作成されているという久留米プランならではの仕事であろう。国語科の場合、提案された単元例は二四八にのぼっている。この点に関する具体的検討を、以下本論の主眼である国語カリキュラムに焦点を当てておこないたい。

四、国語学習カリキュラムの特徴

久留米プランで提案された国語カリキュラムは次のような手順で作られている。

- (1) 生活の能力分析による国語能力表(指導目標)の作成
 - (2) 単元の基底の決定
 - (3) 基底ごとの作業単元例の案出
- それによって立案されたカリキュラムの一部を示し、その特徴を指摘

したい。

国語学習カリキュラムは、次の四つの柱からなっている。

一、指導の重点（話す聞く・読む・書く）

二、具体的目標

三、作業単元例

四、月別配当例

それぞれの具体を、第六学年を例に紹介する。

第六学年国語基底単元表

一、指導の重点		
話　　す	聞　　く	読　　む
<p>1、いろいろな資料を使って納得がゆくようにし、時間を考慮に入れて話すことができるようにする</p> <p>2、内容や場所に應じた話しぶりを身につけさせる</p> <p>3、むだのない力づよい話しぶりができるようにする</p> <p>4、聞いた後に内容や話しぶりについて感想や批評をもつことができるようにする</p> <p>5、常に正しく美しい言葉に関心をもち、他人や自己の言葉について反省し、正しい言葉づかいをするように心がけさせる</p>	<p>1、文を正しく早く読みとり、鑑賞、批判する能力を養う</p> <p>2、日常生活に於ける正しい読書の態度を身につけさせる</p> <p>3、いろいろな文を読んで、文章の種類や構造についての理解を深め、語いや思想を豊かにもつように心がけさせる</p>	<p>書　　く</p> <p>1、生活の多角的な見方、考え方によつて、いろいろな形式で効果的に表現できるようにする</p> <p>2、学校新聞や学校文集の効果的編集ができるようにする</p> <p>3、自分の感想や意見を効果的に發言するため、その原稿を書く力を養う</p> <p>4、文字の形や文字と文字との間かくがととのい、早く自由に書けるようにする</p>

[illegible]

基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	23 知識 情報を得るために、ラジオの利用ができるようになる	24 校内放送の番組の編集、企画ができるようにする	25 発音、抑揚、アクセントについて研究し話しこぼを高めさせる	26 ラジオ放送をもとにして研究意欲をおこさせる	27 知識情報を得るために、映画を利用すること ができるようにする
	28 映画特有の表現法を理解させる				
七 映 画	29 かんたんな批評ができるようにする	30 内容、場所に應じたふさわしい読みふりができるようにする	31 鑑賞しながら聞けるようにする	32 知識情報を得るために、ラジオの利用ができるようになる	33 校内放送の番組の編集、企画ができるようにする
	34 発音、抑揚、アクセントについて研究し話しこぼを高めさせる				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする	5 國語、國字問題に興味をもたせる
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする
	6 國語、國字問題に興味をもたせる				
七 映 画	7 倒置法など効果的表現法ができるようにする	8 一目読みのできる基本的な單語を四〇〇以上に増すことができるようにする	9 一分間に八〇語以上讀めるようにする	10 ほかの式の綴り方もわからせる	11 ローマ字でいろいろな形の文が書けるようにする
	12 A B C 順の排列が完全にできて完全に使うことができるようにする				
基礎能力		作業單元例		基礎	
六 ラジオ	1 省略の多い國語の特質を理解させる	2 文法上のことは（單語、敬語、主語、かかり名詞、動詞、助詞助動詞、形容詞）を理解させる	3 外來語によつて單語の種類を一層はつきりさせる	4 語源や文字について理解を深める	5 方言と共通語の使いわけが意識的にできるようにする

<p>二、學校自治會</p> <p>3 話あい</p> <p>10 日記を読む</p> <p>20 日記を書く</p> <p>11 記録を読む</p> <p>21 記録を書く</p> <p>27 掲示、廣告</p>	<p>・手紙の形式についてしらべる (33 53 55)</p> <p>・いろいろな場合を考へて手紙をかく (53 55)</p> <p>・表現のしかたを研究する (32 53)</p> <p>・すぐれた手紙文をよむ (32 33)</p> <p>・手紙をペンや毛筆でかく</p> <p>・1 [Kawakami kara kawasimo e] ③④ wo yomu</p> <p>・2 [Tokyo e no Tabi] ① wo yomu</p> <p>・3 [Tokyo no Hitotuki] ① wo yomu</p> <p>・4 [Kagayaki Kurabu] (2, 6) wo yomu</p> <p>☆六年生になつて (三、二三、二七) (8 時間)</p> <p>・五年生の反省をする (10 13)</p> <p>・本年度の目標をたてる (12 15)</p> <p>・最上級生になつて覺悟を作文にかく (64)</p> <p>・自治會を開いて、自治組織その他について話し合う (11 86 73)</p> <p>・毛筆で本年度の目標をかく</p> <p>☆討論會 (三、四、二二) (12 時間)</p> <p>・適當な議題を選ぶ (10)</p> <p>・議題について研究する (47 49)</p> <p>・討論會の司會をする (3 11 13)</p> <p>・討論會を開く (11 12 13 14 15 17 36)</p> <p>・發表内容をメモにとる (17 58)</p> <p>☆日記の書き方 (一〇、二〇) (5 時間)</p> <p>・いろいろな種類の日記をよむ (35 57)</p> <p>・日記のつけ方について話し合う (56)</p> <p>・自分のつけている日記について反省する (35 36 37)</p> <p>・學級日記週番日誌のつけ方を研究する (56 57 58)</p> <p>・ペンで日記をつける</p> <p>☆正しい選舉 (三、一三、二三) (7 時間)</p> <p>・選舉について話をさく (13)</p> <p>・選舉を必要とするものについてしらべる (49)</p> <p>・選舉の時の注意について話し合う (10 12 15)</p> <p>(後略)</p>	<p>小山玄夫「作文六年生」</p> <p>新生 中「海、山、空」</p> <p>Midori no Kuni no Kodomo tati</p>	
	<p>☆六年生になつて (三、二三、二七) (8 時間)</p> <p>・五年生の反省をする (10 13)</p> <p>・本年度の目標をたてる (12 15)</p> <p>・最上級生になつて覺悟を作文にかく (64)</p> <p>・自治會を開いて、自治組織その他について話し合う (11 86 73)</p> <p>・毛筆で本年度の目標をかく</p> <p>☆討論會 (三、四、二二) (12 時間)</p> <p>・適當な議題を選ぶ (10)</p> <p>・議題について研究する (47 49)</p> <p>・討論會の司會をする (3 11 13)</p> <p>・討論會を開く (11 12 13 14 15 17 36)</p> <p>・發表内容をメモにとる (17 58)</p> <p>☆日記の書き方 (一〇、二〇) (5 時間)</p> <p>・いろいろな種類の日記をよむ (35 57)</p> <p>・日記のつけ方について話し合う (56)</p> <p>・自分のつけている日記について反省する (35 36 37)</p> <p>・學級日記週番日誌のつけ方を研究する (56 57 58)</p> <p>・ペンで日記をつける</p> <p>☆正しい選舉 (三、一三、二三) (7 時間)</p> <p>・選舉について話をさく (13)</p> <p>・選舉を必要とするものについてしらべる (49)</p> <p>・選舉の時の注意について話し合う (10 12 15)</p> <p>(後略)</p>	<p>新しい國語「人間の尊さ」</p> <p>平和のしらべ「アメリカの子供」</p> <p>新しい國語上 七「人間の尊さ」</p> <p>放送討論會</p> <p>街頭録音</p> <p>學級日誌 週番日誌 學校日誌</p>	<p>社會科「現代の社會とその將來」</p> <p>「生活の改善について討論會をする」</p> <p>○圖工科</p> <p>「ポスター」</p>

言語経験領域	経験	
	言語	
基 底		
作業単元例 学習展開とそこで指導しうる学習目標 とを関係づける	言語活動（話し聞く・読む・書く）	言語生活形態（会話・話し合い・ラジオ・手紙等）
	学習目標（達成させたい言語行動・言語能力―相手を見て話す等）	

このカリキュラムを構成している項目を構造化すると次のようなものになる。

四、月 別 配 當 例		四月	五月	六月	七月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
△六年生になつて	△六年生になつて	△六年生になつて	△六年生になつて	△六年生になつて	△六年生になつて	△六年生になつて	△六年生になつて	△六年生になつて	△六年生になつて	△六年生になつて	△六年生になつて	△六年生になつて
△学校新聞	△学校新聞	△学校新聞	△学校新聞	△学校新聞	△学校新聞	△学校新聞	△学校新聞	△学校新聞	△学校新聞	△学校新聞	△学校新聞	△学校新聞
8時間	8時間	8時間	8時間	8時間	8時間	8時間	8時間	8時間	8時間	8時間	8時間	8時間
△心をうつ人	△心をうつ人	△心をうつ人	△心をうつ人	△心をうつ人	△心をうつ人	△心をうつ人	△心をうつ人	△心をうつ人	△心をうつ人	△心をうつ人	△心をうつ人	△心をうつ人
16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間
△文章の種類	△文章の種類	△文章の種類	△文章の種類	△文章の種類	△文章の種類	△文章の種類	△文章の種類	△文章の種類	△文章の種類	△文章の種類	△文章の種類	△文章の種類
10時間	10時間	10時間	10時間	10時間	10時間	10時間	10時間	10時間	10時間	10時間	10時間	10時間
△夏休み	△夏休み	△夏休み	△夏休み	△夏休み	△夏休み	△夏休み	△夏休み	△夏休み	△夏休み	△夏休み	△夏休み	△夏休み
13時間	13時間	13時間	13時間	13時間	13時間	13時間	13時間	13時間	13時間	13時間	13時間	13時間
△映画のみか	△映画のみか	△映画のみか	△映画のみか	△映画のみか	△映画のみか	△映画のみか	△映画のみか	△映画のみか	△映画のみか	△映画のみか	△映画のみか	△映画のみか
15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間
△アメリカの話	△アメリカの話	△アメリカの話	△アメリカの話	△アメリカの話	△アメリカの話	△アメリカの話	△アメリカの話	△アメリカの話	△アメリカの話	△アメリカの話	△アメリカの話	△アメリカの話
15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間
△読書発表会	△読書発表会	△読書発表会	△読書発表会	△読書発表会	△読書発表会	△読書発表会	△読書発表会	△読書発表会	△読書発表会	△読書発表会	△読書発表会	△読書発表会
16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間
△外來語辞典	△外來語辞典	△外來語辞典	△外來語辞典	△外來語辞典	△外來語辞典	△外來語辞典	△外來語辞典	△外來語辞典	△外來語辞典	△外來語辞典	△外來語辞典	△外來語辞典
9時間	9時間	9時間	9時間	9時間	9時間	9時間	9時間	9時間	9時間	9時間	9時間	9時間
△物語のよみ	△物語のよみ	△物語のよみ	△物語のよみ	△物語のよみ	△物語のよみ	△物語のよみ	△物語のよみ	△物語のよみ	△物語のよみ	△物語のよみ	△物語のよみ	△物語のよみ
14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間
△文字の研究	△文字の研究	△文字の研究	△文字の研究	△文字の研究	△文字の研究	△文字の研究	△文字の研究	△文字の研究	△文字の研究	△文字の研究	△文字の研究	△文字の研究
16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間	16時間
△卒業	△卒業	△卒業	△卒業	△卒業	△卒業	△卒業	△卒業	△卒業	△卒業	△卒業	△卒業	△卒業
14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間	14時間

カリキュラムを構成する縦の軸は、言語活動に注目した言語生活形態による学習内容の設定である。言語生活形態ごとにそれぞれの成立を支える言語行動・言語能力を抽出して学習目標としている。この縦軸と横の軸、すなわち言語運用の場からの学習単位分割（基底による領域区分）との交差する場に作業単元例が作り上げられているのである。

以下、この両軸の性格について述べたい。

1. 学習目標の設定の特徴

久留米プランでは、言語の運用能力（聞く話す・読む・書く能力）と言語生活・言語文化経験との組み合わせによって学習目標が設定されている。これは、当時多く試みられていた言語経験の場による言語指導領域設定の有効性と問題点をそのまま現しているように思われる。すなわち、旧来の教科書読解学習では補い得なかった多様な文種を目的に即して読む実能力的な能力や、生活文の重視から記録文報告文を書く能力へと

この基底を系統化している原理は何か。これを明らかにすることは、今後国語科で単元学習を構想する際に依拠すべき観点に関して示唆を得ることに他ならない。これについて、次のような七つの観点を立てて分類してみた。

○模擬社会生活経験群

A 領域 ごっこあそび

○模擬社会組織経験群

B 領域 学校自治会

C 領域 学校図書館

○音声言語運用経験群

D 領域 日常会話・通信（私的交際・公的交際・実務）

○総合的言語生活運用経験群

E 領域 お話し会・発表会・学芸会

○言語文化（音声言語に関するもの）経験群

F 領域 紙芝居・劇―主として表現

G 領域 ラジオと映写会・映画―主として理解

○言語文化（文字言語に関するもの）経験群

H 領域 童話・物語・小説・伝記―主として理解

I 領域 詩・短歌・俳句―理解と表現

J 領域 随筆・記録―理解と表現

K 領域 新聞・文集―主として表現

○言語研究群

L 領域 ごっこあそび・ローマ字・言葉と文字の研究

基底群から帰納できるものとしては以上の七つであるが、実際の作業単元例を見ると、作業単元を案出する手がかりとされているものとして、

そのほか次のような柱が存在しているように思われる。

○行事経験群

学校行事（入学卒業式・学級園・夏休み）

社会行事（新聞週間・久留米祭・協同募金）

季節に関する行事（七夕・花祭・お正月）

単元学習による学習計画を構想する際に必要となるカリキュラム意識には、指導すべき言語能力の系統と単元のテーマ群の二方向が必要である。すなわち、学習者が学習意識の上で追究している学習テーマ（例：学級新聞をつくろう）体系と、指導者が学習活動を通して指導しようとしている言語能力体系との二方向である。このうちの単元のテーマ群に関して、それを束ねるための、言語や生活をめぐる領域区分を試みたものが久留米プランの「基底」であるといえよう。現在、様々に提案される国語単元学習は、単元名として現れる学習テーマ体系に関して、ともすれば単元のテーマの選択が教科書に用意されたものに依拠しがちであったり、話題性時事性を求め、子供の興味に即したものではあるが、系統性のないその場限りのものとなりがちな傾向が見うけられる。久留米プランが「基底」として提案している、教科に即した基底の設定という発想と豊かな作業単元例は、単元学習によるカリキュラムを構想する際の一つの手がかりを与えてくれるように思われる。

3. 作業単元の実例

ここでは、言語文化経験群、J 領域を取り上げ、各学年の基底ごとに用意された作業単元例を紹介する。ゴチック体で記した単元は社会科や総合生活学習と関連させての指導が考えられているものである。傍線を施した単元は、国語教科書に同名の単元がある、または教科書教材の読

解を中心とした学習を示す。

二年 基底

いろいろな随筆や記録

作業単元例

私たちの町／遠足／学級圖を作る／おひやくしよ

うさん／お祭／花祭／きれいにしましょう／お月

見／お正月／夏休み（冬休み）／えにつき／たこ

あげ／ゆき

三年 基底

随筆と記録

作業単元例

学級日記から／観察日記／私の日記／私の研究／

役に立つ動物／病気を防ごう

四年 基底

記録と報告

作業単元例

駅見学の報告／夏の生活／観察日記／学級日記

基底 説明文を読む

作業単元例

動物の絵話／大昔の生活を劇にする／科学読み物

を読む／学校図書館／学級文庫／辞書の利用

五年 基底

随筆・説明文

作業単元例

楽しい家庭／夏休み／体育会／久留米まつり／郵

便局見学／遠足／伝記と物語り／雪

六年 基底

随筆・紀行文

作業単元例

修学旅行／卒業／夏休み／冬休み／アメリカの話

作業単元設定のより所として、総合生活学習との対応が考えられているのは当然のことであるが、そのほか、教科書に用意された単元を活用したもの、行事を活用したものが目を引く。基底に依拠することで国語領域で指導すべき言語経験・言語生活・言語文化への目配りのきいた、偏りのない単元設定を心がけ、また資料の充実の面から国語教科書を十分に活用し、子供の生活上の必然性を尊重する面から行事（社会・学校・

季節）を生かしながら作業単元が設定されている。

しかも、ここで用意された作業単元はあくまでもサンプル集であってこのメニューの中から何を選んで実践するかは、各学校・教室に委ねられている。それぞれの実態に即してアレンジしていくことで、系統性のある、しかも個々の実態に即した実践計画となるよう意図されているのである。

五、おわりに

本論では久留米プランの特性を、主として国語単元学習カリキュラム上の有効性の観点からとらえてみた。

カリキュラム計画は、計画を立てる上での理論的基盤の確かさ、計画としての体系性系統性の整合度、具体性実行可能性等によつて検討・評価されるべきものであろう。久留米プランは、具体化への目配りに関して、他のカリキュラムプランと比較して、特に注目されることを指摘した。また、久留米プランにおける国語単元学習カリキュラムは、理論的な基盤（言語能力把握）に当時の時代的な限界を見せながらも、単元を設定するうえで依拠すべき領域が系統立てて示されていることが確認できた。現在の国語単元学習実践に求められている、単元のテーマ体系への視野を確保している点で注目できる。久留米プランは、単元学習による国語学習カリキュラムを考えるための原則と具体を得る上で一つの示唆を与えてくれる価値ある歴史的遺産といえよう。